

☆登場人物紹介☆



イワイ
図書館ビギナー・猫好き



えーちゃん
ベテラン図書館ユーザー



???
第9話でその名前が判明!

Voice!

VOL.5

中高生版としょかんNews 2017・秋号

発行：伊勢市立伊勢図書館
指定管理者/株式会社図書館流通センター
伊勢市八日市場町13-35 TEL0596-21-0077
http://iselib.city.ise.mie.jp/

今年の夏休みも図書館はたくさんの方で賑わいました。
自由研究に読書感想文。久しぶりに図書館に来た！ってひとも多いのでは？
え？宿題が終わったら図書館に用はない？ちょっと待って！
これからの読書の秋におすすめしたい本がたくさんあるんです♪
今回の特集テーマは「文豪」。授業で名前を覚えるだけではもったいない！
彼らの作品とその人柄を一緒に覗いてみよう♪

【あらすじ】

何かのはじまりを予感させていた夏はあっさり終わり・・・いつの間にか季節は秋の猫以外の本も借りるようになったイワイが次に読む本とは一体・・・!?
詳しくは図書館で第9話を読んでね!

イワイとえーちゃん ⑩

秋だから、図書館の巻



まだつづく

特集

文豪

～今なお愛される名作とその人物像～

かつて明治から昭和にかけて活躍した「文豪」と呼ばれるひとたち。彼らの作品が今なお読み継がれているのは、その作品が面白くて、作家本人も魅力的だからだと思います。今回は数多の文豪の中から7人をご紹介します!

『舞姫』が実話だったら結構ヒドイ!
エリートだけどショッキングな文豪

森鷗外



文久2年(1862)～大正11年(1922)

時は明治維新後の西欧諸国に追いつけ追い越せの時代。東京帝国大学医学部を卒業し、陸軍軍医となった鷗外は、ドイツに留学。帰国後その体験を活かし『舞姫』などを発表。アンデルセン原作『即興詩人』などの翻訳も務めるなど、幅広い活動をしました。

『阿部一族・舞姫』森鷗外/著 新潮社 (913.6/モ)

プレッシャーに弱い!?
ストレスにめげずがんばったザ・文豪

夏目漱石



慶応3年(1867)～大正5年(1916)

幼いころから漢学や英語に親しみ、文部省の命でイギリスに留学した漱石。そこで待ち受けていたのは異国での孤独、留学費不足による貧乏生活、母国からの過度の期待...イギリスに馴染めず帰国するものの、待っていたのは妻のヒステリー...リフレッシュしたら?と勧められて書いた『吾輩は猫である』で文壇デビューしました。

『21世紀版少年少女日本文学館:2 坊っちゃん』講談社 (913/二/2)

美人薄命!
短い命を燃やした美しきひと...

樋口一葉



明治5年(1872)～明治29年(1896)

女は勉強より針仕事を覚えるべき。そんな現代より厳しい男性社会の中で一家の大黒柱となったティーンの一葉。貧乏脱出のため小説で一攫千金を狙います。綺麗な文章力で少女や女性の心理を作品に描き、『たけくらべ』で森鷗外に大絶賛されるも、その7か月後、肺結核のため24歳の若さでこの世を去りました。

『にごりえ・たけくらべ』樋口一葉/著 新潮社 (913.6/ヒ)

